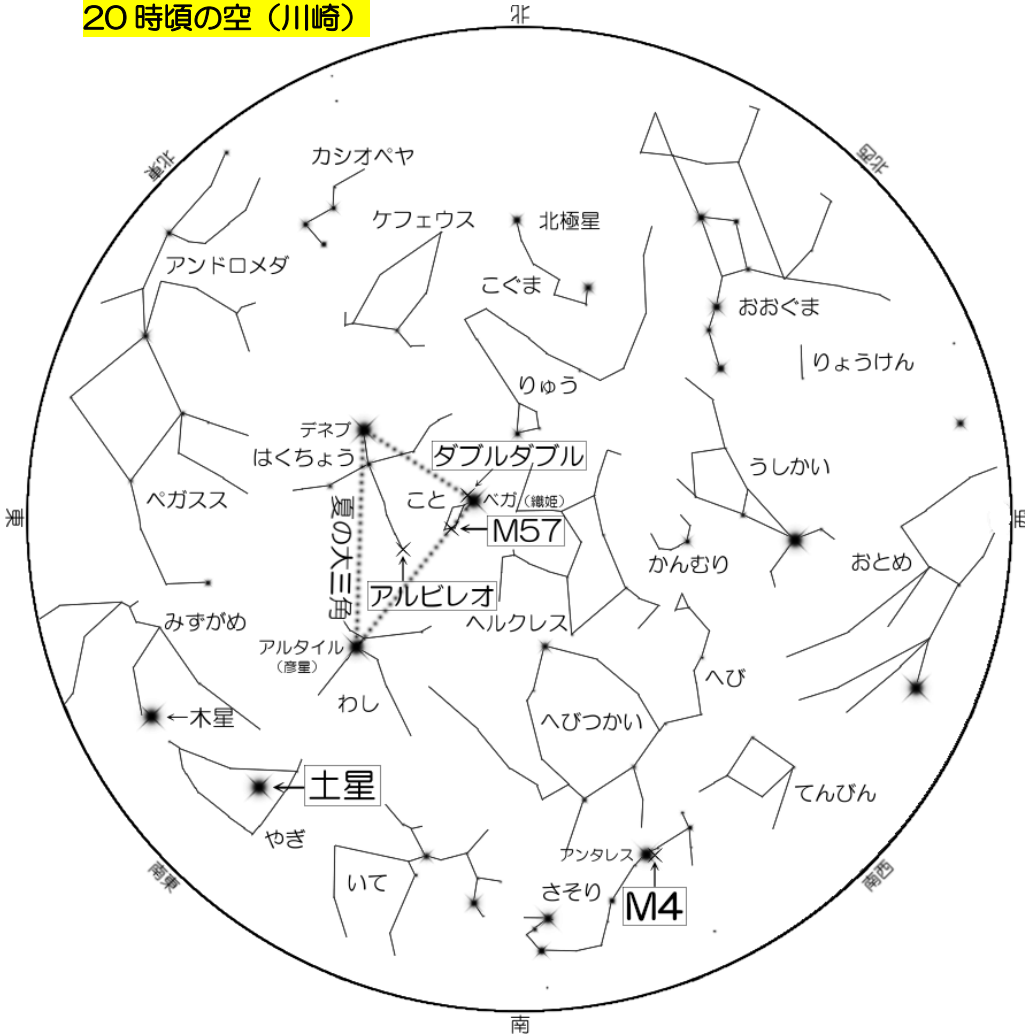


# 星を見るタベ

\*このリーフレットは科学館天文サポーターの協力により作成しています。

8月中旬

20時頃の空(川崎)



## 8月の星空

日の入り後、西の低い空には金星(−4等級)が輝き、東の空からは木星(−3等級)が昇ってきます。その少し高いところには土星(0等級)が見頃です。

また天頂付近にはこと座のベガ(織姫星)、南寄りにはわし座のアルタイル(彦星)、北寄りにははくちょう座のデネブが輝いています。この3個の一等星を結んだ三角形が夏の夏の大三角です。

そして、今年は月明かりもなく好条件のペルセウス座流星群。8月13日の未明を中心に、たくさんの流星を観測することができそうです。

## ★これからの天体現象★

- 8月 2日 土星が衝  
(太陽と正反対の位置になる・明るく見やすい)
- 8月 8日 新月(23時)
- 8月11日 夕方西の空で月と金星が接近
- 8月13日 未明にペルセウス座流星群が極大  
(前後数日が多い流星が見られるチャンス)
- 8月14日 伝統的七夕(旧暦7月7日)
- 8月16日 上弦(0時)
- 8月20日 木星が衝(太陽と正反対の位置になる・明るく見やすい)
- 8月22日 満月(21時)が木星と接近
- 8月30日 下弦(16時)、くじら座ミラが極大光度



## 8月の観察天体(予定)

### アルビレオ(二重星)

はくちょう座の頭の位置にある3等星のアルビレオ(はくちょう座β(ベータ)星)。肉眼では1つにし  
か見えませんが、天体望遠鏡をのぞくと……、寄り添うような雰囲気がある2つの星、二重星。  
「天上の宝石」とたたえられるオレンジの主星と青い伴星からなる美しい二重星で、宮沢賢治は『銀河鉄  
道の夜』でサファイアとトパーズになぞらえています。

### M4(球状星団)

さそり座のアンタレスのすぐ西側にある球状星団(=恒星が球状に密集した星団)です。地球から約7000  
光年の距離にあり、約4万個の星が直径100光年くらいの中に密集しています。双眼鏡でアンタレスの  
少し西側を探せばぼんやりとした光芒を見つけられます。

### ダブルダブルスター

こと座ε(イプシロン)星、別名ダブルダブルスターは地球から約160光年離れた所にあります。肉眼  
で見ると1つの星に見えますが、双眼鏡では2つに、望遠鏡ではさらにそれぞれ2つずつ、つまり合計で  
4つの星が見えます!これが”ダブルダブル”と呼ばれる理由です。

近年では、宮沢賢治の「双子の星」のモデルではないか?とする説も。



### ぷりんのひとことメモ

夏休みの宿題はすすんでる?

自由研究に星のことを調べるのはどうかな?今月は、ペルセウス座流星群っていう有名な流星群  
があって、13日の前後には流れ星がたくさん見られるよ。

14日は「伝統的七夕」の日で、7月に見逃しちゃったっていう人はもう一回、おり姫やひこ星  
に出会うチャンスがあるよ!あと、木星・土星がみつけやすいよ~。



かわさき  
宇宙と緑の科学館  
Kawasaki Municipal Science Museum  
サイエンスプリン

### インフォメーション

「星を見るタベ」は、まん延防止等重点措置の期間延長、なら  
びに緊急事態宣言の発令に伴う本市行政運営方針に従って、以  
下の日程を中止といたします。

8月7日(土)、8月14日(土)、8月21日(土)、  
8月28日(土)

ご理解くださいますよう、お願いいたします。